

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） 効果検証シート（令和5年度分）

担当課

総務部企画政策課

交付対象事業名	この指とまれ！ 弥富の人・情報・想いをつなぐ “YTM.Meeting：ヤトミーティング” プロジェクト											
総合戦略での位置付け	基本目標1 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする 基本目標2 つながりを築き、新しいひとの流れをつくる 基本目標4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる	事業費	計画額（円）	5,000,000								
			実績額（円）	4,994,000								
事業目的・概要	<p>【目的】 多様な主体の交流とあらゆる情報や資源の共有を市民協働により推進し、「市民が何かに困った時」、「何かを頑張ろうと思った時」に時間や場所、年齢や性別、置かれている境遇などに関わらず、誰もが活路と活躍の機会を見出せるまちの実現に向けて取り組み、人と人がつながることで安心感や賑わいを醸成し、ずっと住み続けたいと思う住民を増やすことを目的とする。</p> <p>【概要】 (1) 地域資源バンク制度の構築 公・共・私問わず市内の様々な資源（ヒト・モノ・場所）のマッチングを可能とするため、「地域資源バンク制度」を構築し、そのウェブサイトを作成することで人的資源の情報の見える化を図る。</p> <p>(2) α拠点（市役所本庁舎南棟内に設置する市民活動スペース）の設置・運用 α拠点は当面は市が事務局を担い、地域資源バンクの運営を行いつつ、β拠点（個性や得意な分野を活かした活動やその活動拠点）の開設や活動を支援する。 β拠点同士をつなぐハブとしての機能を持ち、主にβ拠点の紹介やニーズ別の案内を行うなど、統括的な役割を担う。 営利目的を可能とした市民の活躍の場を提供することで、多様な主体のつながりを生み、事業の主体者やサービスの受給者に達成感や充実感を感じてもらう。 ヤトミーティング主催のイベントなどを企画することで、β拠点同士の交流の促進、市民の利用促進を図る。</p> <p>(3) β拠点の認定制度の設計・運用 各々個性や得意な分野を活かした活動やその活動拠点等をβ拠点として認定し、推進する認定制度を設ける。</p> <p>(4) ヤトミーティングの法人化 ヤトミーティングが住民自治組織として自立して活動していけるよう、法人化に向けた手助けを行う。</p>											
主な成果	令和5年度においては、準備段階を経たプロジェクトの試験運用段階と位置づけ、地域資源バンクウェブサイトの試験運用、市民活動拠点の試験運用（チャレンジショップ、ワークショップの実施）及び設計、ヤトミーティングの法人化を行った。											
重要業績評価指標（KPI）	指標（単位）	基準値	2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		2026年度	
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	α拠点が仲介して、市民の相談事が解決に繋がった件数（件）	0	0	0	12	4	36		48		60	
	α拠点が仲介して、β拠点同士が連携した件数（件）	0	0	0	6	0	12		18		24	
	地域資源バンクの登録件数（件）	0	0	0	50	111	70		90		100	
	YTM.Meetingプロジェクトに企画・参加する市民の人数（人）	16	19	35	22	34	25		28		31	
事業効果	効果	③本事業は地方創生に効果があった										
	理由	α拠点が未整備であり、対面での相談窓口が設置できていないことなどから、α拠点の仲介が前提である指標は目標値を達成することができなかった。一方で、地域資源バンクの登録件数が目標値の2倍以上の実績値となったことで、地域資源バンクウェブサイトへ掲載する情報の充実につながり、地方創生に一定の効果があったと考えるため。										

〈選択肢〉

- ①本事業は地方創生に非常に効果的であった
- ②本事業は地方創生に相当程度効果があった
- ③本事業は地方創生に効果があった
- ④本事業は地方創生に対して効果がなかった

今後の方針	方針	③事業の継続
	理由	令和6年度は継続的・自立的なプロジェクトの展開に向けた本格運用段階であることから、地域資源バンクウェブサイトをさらに充実させるとともに、α拠点の整備工事完了後、α拠点をプレオープンし、相談窓口の設置や各種イベントを行う。また、令和7年度以降も継続的に事業を実施していくために、NPO法人ヤトミーティングが法人としての組織基盤を強化し、持続的に組織運営ができる体制を構築する必要がある。

〈選択肢〉

- ①追加等さらに発展させる
- ②事業内容の見直し（改善）
- ③事業の継続
- ④事業の中止
- ⑤予定どおり事業終了

外部有識者からの評価	意見	・2024年度には、活動拠点の設置・整備を速やかに実施するとともに、プロジェクトを円滑に進めていくために地域の諸団体との良好な関係を構築していくことが肝要である。 ・NPO法人ヤトミーティングの主体性・自律性を高め持続可能な団体となるためには、経営、法務、財務、会計の知識をもった専門家の助言がえられるような関係性の構築も重要である。 ・2024年度以降は、プロジェクトの本格的実施段階にはいる。プロジェクトの目標達成に向けて行程表を作成し、進捗管理を怠らないようにしていくことも必要である。
------------	----	--